

Annual Report 2022

(年次報告書)

特定非営利活動法人アットリンク奈良



目次

目次

はじめに	1
2022 年度 事業報告（概要）	2
2022 年度 事業報告（助成事業詳細）①	3
2022 年度 事業報告（助成事業詳細）②	5
2022 年度 事業報告（助成事業詳細）③	9
2022 年度 事業報告（助成事業詳細）④	10
2022 年度 非営利活動事業報告	14
メディア掲載実績	16
2022 年度決算（概要）	17
2022 年法人管理	20
2023 年事業計画	21

はじめに

はじめに

2021年10月設立当初より理事長を務めております竹谷栄美です。

平素より、アットリンク奈良の活動に対し、格別のご理解、ご支援を賜り、まことにありがとうございます。



さて、アットリンク奈良は、正会員、賛助会員をはじめ、福祉団体や行政、地域社会の皆様を支えられ、心と心のつながり（Link）を大切にし、誰もが安心して暮らすことができる性暴力のない社会の実現をめざし、性暴力被害者支援や性暴力防止のための啓発活動を行なっております。

性暴力は性別や年齢に関係なく起きる重大な人権侵害であり、被害によるトラウマ（心的外傷）のせいで、被害後何年たっても生き辛さを抱えている人は多く、心を病んでしまう人は少なくありません。性暴力被害に遭ったことを他人には相談しにくく、また勇気を出して話しても、心ない言葉で二次被害を受けることも多々あります。

ご支援してくださる皆様にも、性暴力被害の実態を知っていただきたく、当法人の活動及び運営について情報開示を積極的におこなってまいりたいと考え、今年度より「Annual Report 2022（年次報告書）」の作成、公表を始めました。

賛助会員の皆様におかれましては、いただきましたご支援を性暴力のない社会の実現のためにどのように活用させていただいているかをご確認いただければ幸甚に存じます。

また、各事業の助成団体さまには、性暴力のない社会の実現という共通の目的に向かって連携や協働を賜る事が出来ればと考えており、本レポートがそのための一助となれば幸いです。

私たちは、性暴力被害者の心身のケアと回復には、人と人との心のつながり、そして社会とのつながりが何より大切だと考えています。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年4月30日
特定非営利活動法人アットリンク奈良
理事長 竹谷 栄美

2022年度事業報告（概要）

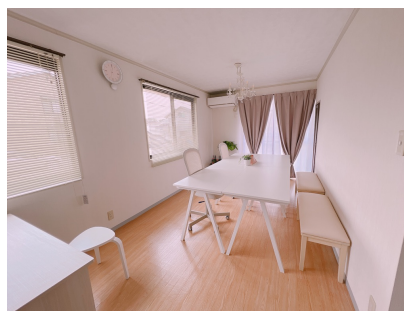
2022年度事業報告（概要）

1. 事業報告（概要）

- 2022年4月 アットリンク奈良設立記念講演会を開催し、多数の参加者がありました。
NHKの取材もあり、当日夕方のニュースで放映されました
- 2022年5月 心の居場所「At Link café」の運営を開始し、毎月一回様々な分野の講師を招き、多彩な活動を展開することが出来ました
- 2022年6月 相談拠点としてクライシスサポートセンター「At Link House」を開設し、相談業務を開始しました
- 2022年11月 女性に対する暴力をなくす運動「パープルリボンキャンペーン」イベント及びアットリンク奈良設立1周年を記念として、講師を招き講演会を開催しました
- 2022年11月、2023年1月「私たちの身近にある性暴力～まずは知ることから～」というテーマで当法人の理事が、ならコープ理事会の研修会に講師として招かれ、講座を届けました
- 2023年3月 「国際女性デー」イベントとして講師を招き、講演会を開催しました



At Link House



執務室、面談室



カウンセリングルーム



セラピールーム

2022年度事業報告（助成事業詳細）①

2022年度事業報告（助成事業詳細）①

2022年4月24日(日) アットリンク奈良設立記念講演会報告書

(公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団公募福祉助成金事業) 担当：坂上

日時：2022年4月24日(日) 13:00~15:00

場所：奈良県文化会館小ホール

テーマ：『子どもや若者のSNS性被害～デジタル性暴力の実態～』

講師：一般社団法人 Colabo 代表 仁藤 夢乃氏

人数：定員70名、参加者

(アンケート回答者52名、回収率74.3%)

項目	集計データ	備考
参加者年代割合	20代3.8%、30代1.9%、40代5.8%、50代32.7%、60代42.3%、70代以上11.5%、不明1.9%	50代・60代が75%を占め、70代以上も含めると50代以上が86.5%を占めた。
参加者の職業	その他34.6%、主婦25%、公務員19.2%、会社員2%、不明7.3%	「その他」には、無職・福祉職・医師・NPOスタッフ・パート・トレーナーと記載されたものあり。
講演会を知った経緯	口コミ44.4%、その他27.8%、新聞・チラシ16.7%、SNS(Facebook)9.3%、不明1.9%	「その他」の中に、団体の研修(5名)・関西カウセリングセンター(1名)・フラワーデモ(1名)・各種団体(1名)・アットリンクからの案内(1名)と記載したものがあつた。この項目については2人が重複して答えていた。
セミナー満足度	かなり満足61.5%、満足34.6%、普通1.9%、不明1.9%	「かなり満足」「満足」を合わせると96.1%の参加者がほぼ満足している。
次回の講演会参加意思	ぜひ参加したい48.1%、タイミングが合えば参加したい46.2%、不明5.8%	「ぜひ参加したい」「タイミングが合えば参加したい」を合わせると、94.3%が次回の講演会への参加意思を示した。

参加者の職業や所属団体は様々だが、「講演会満足度の理由」及び「今後の講演会やセミナーで知りたい情報や要望等」からも、今回の講演会の参加者の満足度は非常に高かつた。今の若年層が置かれている状況を知ること、世間の性暴力被害への偏見を払拭するきっかけとして、また、現在の性暴力被害者が置かれている実状を知るためにも、今回の講演会は社会的に有意義だつたと思われる。

2022年度 事業報告（助成事業詳細）①

「今後もアットリンク奈良の活動を知りたい。」「県内で活動している人の話も聞きたい。」「具体的にどういう支援をどう繋げていけば良いのか学びたい。」といった感想もあり、当法人設立の意義や方向性を確認できた。

また当日、NHK 奈良支局の取材があり、性暴力被害者支援の奈良県内初の民間団体の設立記念イベントとして、本講演会の様子がニュースで2回報道された。その他にも本講演会の告知をきっかけにして、読売新聞等のメディアから取材を受けており、当法人の活動を世間に周知するという意味でも一定の成果があった。

当日配布した資料には、当法人の活動予定等も含まれており、今後の活動の周知にも有効だったと考えられる。

課題としては、参加者の年齢層が高かったことで、更に幅広い年齢層への当法人の周知が必要であり、教育関係者への周知や予防啓発活動も、今後求められてくるのではと思われる。



nhk.or.jp

性暴力の被害者支援へNPO法人設立 奈良県初の民間支援団体 | NHK 奈良県のニュース



2022年度事業報告（助成事業詳細）②

2022年度事業報告（助成事業詳細）②

2022年5月～2023年2月心の居場所「アットリンクカフェ」報告書 （コープ共済連 組合員参加推進部地域ささえあい助成事業） 担当：中村

心の居場所「アットリンクカフェ」は、性暴力被害者の孤立を防ぐ事を目的とし、月に一回程度、当法人の相談拠点『At Link House』や参加者が多数の時はレンタルスペースにて、様々な分野に詳しい講師をお招きし、参加者自身の癒しや学びの時間を提供しました。

【第1回】

日時：2022年5月22日（日）13：00～15：00

場所：近鉄奈良レンタルスタジオ

テーマ：『癒しのヨガ』

講師：講師：Happy yoga life 藤井美由紀氏

参加者：7名

内容：癒し系ヨガインストラクター・みっきー先生が作り出す世界に、参加者の方は心も体ものびのびユルユルでした。終了後、参加者の皆さんの表情がとても柔らかになり、セラピー効果は絶大で、何も気を遣わない心地良い空間となりました。



【第2回】

日時：2022年6月26日（日）13：00～15：00

場所：奈良市六条 At Link House

テーマ：『コラージュ療法』

講師：京都文教大学名誉教授 森谷寛之氏

参加者：6名

内容：初めての拠点（アットリンクハウス）での開催でした。



2022年度事業報告（助成事業詳細）②

参加者の皆さんは、黙々と作業に没頭し、雑誌や本の中から、自分の心が求める絵や写真を切り抜いては、白い画用紙に配置していきました。出来上がったそれぞれの作品を全員で見て、感じて、味わいました。コラージュセラピーはとても意味のある充実した時間となりました。

【第3回】

日 時：2022年7月24日（日）13：00～15：00

場 所：レンタルスペースかねこ

テーマ：『ミュージックセラピー』

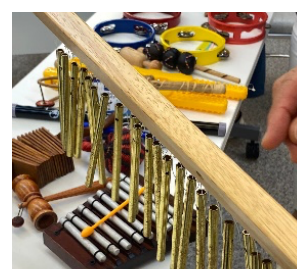
講 師：音楽療法士 鷲山和貴子氏

参加者：5名

内 容：コロナ禍にあって、私たちの日常に『歌うこと♡笑うこと』が少なくなっているように思いますが、久しぶりに、歌や笑いの時を過ごしました。

またトーンチャイムという楽器を使って、参加者の皆さんそれぞれ、『自分の音』を見つけ、そしてひとつのコミュニケーションの形を学びました。

場のチカラ、音のパワー、人の想いそれらが合わさって連帯感が生まれた気がしました。



【第4回】

日 時：2022年8月28日（日）13：00～15：00

場 所：At Link House

テーマ：『おとなのための絵本の時間』

講 師：絵本専門士 杉本 孝美氏

(日本総合保育大学や同志社女子大学)

参加者：10名

内 容：講師に事前をお願いしていたのは、「頑張れ！頑張れ！ではなく、ふと心がゆるむような…なんだかホッとするような…そんな優しいことばが詰まった絵本をご紹介くだ



2022年度事業報告（助成事業詳細）②

さい」ということでした。私たち大人は、絵本を見ていても、つい文章を読みたくなる・・・だけどそうではなくて、いつも使わない脳、いつも使わない心を使って、「絵を見てほしい」との事でした。参加者の皆さんが、目をキラキラ輝かせながら、一生懸命に考えておられる姿が印象的でした。

【第5回】

日 時：2022年9月25日（日）13：00～15：00

場 所：At Link House

テーマ：『超カンタン！ココロも整えるちょい足し薬膳』

講 師：人生を人変える9マス薬膳師 香川 美幸氏

参加者：5名

内 容：薬膳の『難しい…、複雑…』というイメージを払拭する、わかりやすい講師の話に、参加者の皆さんは薬膳へのハードルが一気に下がったようでした。

日々の食事に取り入れやすい、『ちょい足し薬膳』を早速実践したいという感想が相次ぎました。『体感の医学』と言われる薬膳を少し取り入れることで、心身ともに健康に過ごしていただけたらという思いに浸った回になりました。



【第6回】

日 時：2022年10月23日（日）13：00～15：00

場 所：ならコープふれあいセンター六条

テーマ：『二胡&ピアノ&朗読の会』

演 奏：にこまる（長井優香・岩見舞）

絵本朗読：絵本専門士 杉本 孝美

参加者：27名

内 容：特別バージョンということで、二胡とピアノによる素晴らしい演奏と、曲に合わせて語りかけるような絵本朗読。予想人数を大きく上回る方々にご参加いただき、無事終了



2022年度 事業報告（助成事業詳細）②

しました。本当に、癒し効果が抜群で、音楽と朗読が人の心に感動と癒しを与えることを目の前で見ていただきました。温かなものが胸に流れ込み、感動が膨らんだ秋のひとときでした。

【第7回】

日 時：2022年12月4日（日）13：30～15：30

場 所：奈良県女性センター

テーマ：『リースを作りましょう』

演 奏：フラワーアーティスト 柿原 三智子氏

参加者：11名

内 容：クリスマス飾りを正月飾りに変えて、そのまま飾ることができるようなリースを作成したいと講師にリクエストしました。

参加者の皆さんは、それぞれがイメージした作品を黙々と作られていました。

材料に使用したヒバの香りが講座室内に広がり、緑の植物に触れ癒しのひと時を過ごすことができました。



【第8回】

日 時：2023年2月12日（日）13：00～15：00

場 所：At Link House

テーマ：『お家でできる本格ハンドドリップコーヒー』

講 師：コーヒー研究家 Takuma 氏

参加者：6名

内 容：最終回は、“ハンドドリップで美味しいコーヒーを淹れる”をテーマに、いろんなコーヒー豆の説明や淹れ方を学んだ後、参加者の皆さんにも数種類のコーヒーの飲み比べをしていただきました。部屋中に広がるコーヒーの香りに包まれて、終始とても和やかな雰囲気でした。



2022年度 事業報告（助成事業詳細）③

2022年度 事業報告（助成事業詳細）③

『性暴力被害者だけでなく一般の方にも手に取ってもらいやすい
心癒すデザインのチラシやリーフレットを作りたい!』報告書
(ラッシュジャパン チャリティバンク助成事業) 担当：米田



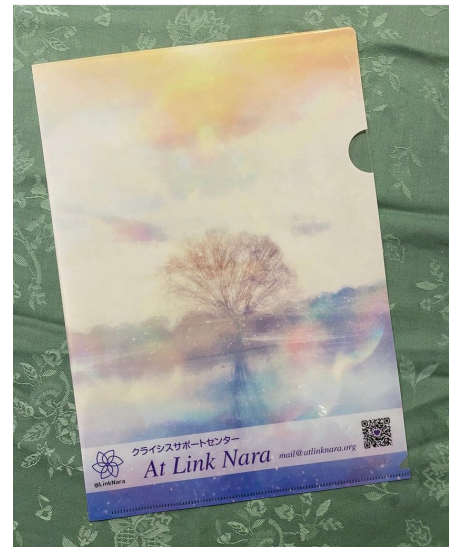
④ カウンセリングに来ていただいた方へお渡しする小冊子



③ アットリンク奈良の案内（カードタイプ）



② アットリンク奈良の案内（リーフレット）



① アットリンク奈良のクリアファイル

以上、4点のリーフレットや小冊子を作成しました。

2022年度事業報告（助成事業詳細）④

2022年度事業報告（助成事業詳細）④

性暴力に関する予防啓発事業報告書

（公益財団法人キリン福祉財団 令和4年度キリン・地域のちから応援事業）担当：坂上

日時：2022年11月20日（日）14：00～16：00

場所：奈良県女性センター

テーマ：『生きづらさ抱える女性たち～制度のはざまに埋もれた SOS～』

講師：特定非営利活動法人 BOND プロジェクト 代表 橋 ジュン氏

人数：定員 50 名、参加者 25 名

（アンケート回答者 17 名、回収率 68.0%。）

項目	集計データ	備考
参加者年代割合	20代 5.9%、30代 5.9%、40代 29.4%、50代 11.8%、60代 41.2%、70代以上 5.9%、不明 1.9%	60代の次に40代が多く、40代～60代で82.4%を占めた。
参加者の職業	その他 23.5%、主婦 23.5%、会社員 17.6%、不明 17.6%、公務員 5.9%、自営業 5.9%、アルバイト 5.9%	「その他」には法人教員 1 名と無職 2 名が含まれる。
講演会を知った経緯	チラシ 35.0%、口コミ 20%、SNS 15.0%、その他 10%、新聞 10%、ホームページ 5%、不明 5%	講演会を知った経緯は重複している場合があり、母数は20名である。「その他」は、施設で知った、アットリンク代表から知った、という各 1 名である。
セミナー満足度	満足 35.3%、かなり満足 35.3%、やや満足 17.6%、やや不満 5.9%、不明 5.9%	「満足」「かなり満足」「やや満足」合わせると、88.2%の参加者がほぼ満足している。
次回の講演会参加意思	ぜひ参加したい 52.9%、タイミングが合えば参加したい 41.2%、どちらとも言えない 5.9%	「ぜひ参加したい」「タイミングが合えば参加したい」を合わせると、94.1%が次回の講演会への参加意思を示した。

今回は若年層における性暴力とその支援がテーマであったせいも、参加者の年代は若干若かった。回答があった 17 名中 9 名（52.9%）は、相談業務や何らかの支援団体に所属しており、支援者側に若年層の現状に対する問題意識が高いことがわかる。

2022年度事業報告（助成事業詳細）④

講演会を知った経緯は、前回は初めての講演会ということもあって口コミが最も多かったが、今回はチラシが最も多く、SNSや新聞といった広報メディアが告知に有効だったことがわかる。

「パワポが見えにくかった」という意見はあったものの、9割近い参加者が本講演会に概ね満足したと回答しており、“（講師の）熱意に強い刺激をいただいた。”、“公的シェルターに入ることのハードルの高さ、聴くことの大切さを考える機会になった。”、“困っている人に自分は何ができるかを深く考えることができた。”というように、それぞれの立場で多くのことを感じてもらえたようである。講師が事例や映像を多く使用したため、“橘ジュンさんのお話を直接聴くことができる貴重な機会だったので、それだけで「満足」。最初の映像もわかりやすくインパクトもあり、とてもよかった。行政とはつながっているけれどメンタル支援は受けられない現状をあらためて感じた。”といった意見があった。現場でのリアルな支援活動をつぶさに知ること、我が国の若年層がどんな困難な状況にあるか、そして若年層を支援する意義と難しさもまた伝わったのではないかと考える。

自身も虐待を受けていたという参加者の、“（アットリンク奈良の）この活動によって救われている人も多いかと思う。活動をこれからも応援している。”という感想もあり、当法人の活動の意義を改めて確認できた。

また当日はNHK奈良支局と朝日新聞からの取材があった。今回は放映や掲載はなかったが、性暴力被害の予防啓発のために、当法人の様々な活動の広報は今後も続けて行く必要があると考えている。



2022年度事業報告（助成事業詳細）④

日時：2022年3月5日（日）13：00～15：00

場所：はぐくみセンター

テーマ：『性暴力トラウマ回復の最前線～誰もができる大切な事～』

講師：エンパワメント・センター 主宰 森田 ゆり氏

人数：定員30名、参加者28名

（アンケート回答者25名、回収率89.3%。）

項目	集計データ	備考
参加者年代割合	40代16.0%、50代24.0%、60代32.0%、70代以上20.0%、不明8.0%	60代が最も多かったが、40代～70代以上まで概ね平均的な参加割合であった。
参加者の職業	主婦40.0%、その他20.0%、会社員12.0%、公務員8.0%、アルバイト8.0%、自営業4.0%、不明8.0%	主婦が最も多かった。その他を選んだ人はほぼ60代、70代以上であった。
講演会を知った経緯	口コミ53.6%、チラシ25.0%、SNS10.7%、新聞10.7%	講演会を知った経緯は重複している場合があり、母数は28名である。
セミナー満足度	かなり満足52.0%、満足28.0%、やや満足4.0%、普通4.0%、不明12.0%	「かなり満足」「満足」「やや満足」を合わせると、84.0%の参加者が概ね満足している。
次回の講演会参加意思	ぜひ参加したい48.0%、タイミングが合えば参加したい40.0%、不明12.0%	「ぜひ参加したい」「タイミングが合えば参加したい」を合わせると、88.0%が次回の講演会への参加意思を示した。

今回の参加者は、無回答の人を除き、全員40代以上であった。回答があった25名中11名（44.0%）は、相談業務や何らかの支援団体に所属しており、今回のテーマであるトラウマからの回復が、どんな支援に携わる支援者にとっても重要な課題であることが伺える。講演会を知った経緯は、今回は家族・知人・友人からの口コミが最も多かったが、それ以外のチラシ、SNS、新聞の合計は46.4%とほぼ半数で、媒体による広報の効果も感じられた。講演会の満足度は、9割近い参加者が概ね満足したと回答しており、以下のような感想が寄せられた。

“とてもわかりやすかったし、支援を長年されていた方のリアルな話が心に響いた。支援や制度の充実の必要性を痛感した。”、“最も重要なこと、それが少しの努力、心がけで実施できる。私にもできるかもしれないという思いになれた。”、“トラウマは克服しなくてもいいのだと教えていただいた。子どもになぜ？ どうして？ と言ってきたので反省している。”、“心の応急手当て、傾聴が大事とわかった。”など。

2022年度 事業報告（助成事業詳細）④

また、自身の子育てや日常に生かせるといった内容のほか、“たまたま最近読んだ「反省させると犯罪者になります」という本の裏づけができた。性被害を受けた子に、どう対処すれば良いかがイメージできた。”、“子ども時代に加害した子が、また暴力を再現しないためのプログラムの大切さ、ソマティックアプローチの有効性、効果”といった専門的な内容に言及した感想もあった。

そのほかにも、“性被害の子どもに対する親の対応について、身近な人の対応について間違っていた関わりをしている人がたくさんいると思う。特に教育現場では被害・加害者のケアは発展途上かと思う。児相の対応も遅れている。日々、どうしたら良いか悩んでいる。”といった支援現場での切実な悩みもうかがえた。

全体として、一般の参加者にとっても支援業務に携わる参加者にとっても、「トラウマは乗り越えるものではなく共に生きるもの」という講師によるメインテーマはインパクトをもって受け止められたと思われる。一方、“もっと聞きたい気持ちになった。時間的に少し短かったかなという気もした。”、“具体的な内容を聞きたかった。”という意見もあったので、今後の参考にしたい。

また当日に取材のあった読売新聞に、講演会の様子を伝える記事が3月6日に掲載された。性暴力への社会的な関心を高め、被害者への早期の対応の重要性を周知するためにも、本講演会は意義があったものとする。



2022 年度 非営利活動事業報告

2022 年度 非営利活動事業報告

1. 性暴力被害者への直接支援事業

(相談受付の実績 2022 年 6 月～2023 年 3 月)

	電話	メール	面談
相談受付日数	210 日	304 日	210 日
相談受付件数 (延べ件数)	119 件	65 件	2 件

2. 性暴力被害者支援員の養成研修に関する事業

今年度は実施なし

3. 性暴力に関する予防啓発事業

(助成事業として年 3 回講演会実施)

実施日	テーマ	講師
4 月 24 日	子どもや若者の SNS 性被害 ～デジタル性暴力の実態～	一社) Colabo 仁藤夢乃 (代表理事)
11 月 20 日	生きづらさ抱える女性たち ～制度のはざまに埋もれた SOS～	特非) BOND プロジェクト 橘ジュン (代表)
3 月 5 日	性暴カトラウマ回復の最前線 ～誰もがができる大切な事～	エンパワメント・センター 森田ゆり (主宰)

4. 関係団体との交流及び連携事業

今年度は実施なし

2022 年度 非営利活動事業報告

5. 性暴力被害者の自助組織の支援事業

性暴力被害者自助グループ Me Too の会 6回 開催

性暴力被害者自助グループ Me Too の会+（プラス）3回 開催

6. 性暴力に関するセミナー及び講演会への講師派遣事業

実施日	講師派遣先	テーマ	講師
11月20日	市民生活協同組合ならコープ 理事会勉強会	私たちの身近にある性暴力 ～もしあなたが相談を受けたら～	中村
1月31日	桜井市男女共同参画 ネットワーク会議研修会	私たちの身近にある性暴力 ～まずは知ることから～	竹谷

7. 性暴力被害者の自立支援事業

今年度は実施なし

メディア掲載実績

メディア掲載実績

・ 2022年04月25日

NHK 奈良県のニュース「性暴力の被害者支援へ NPO 法人設立 奈良県初の民間支援団体」

・ 2022年05月08日

読売新聞オンライン「性暴力の被害に遭った人の支援を行う NPO 法人アットリンク奈良」

・ 2022年06月13日

NHK 奈良県のニュース「性暴力被害者が心や体をケア NPO 法人が支援施設 開設」

・ 2022年08月27日

奈良新聞「性暴力被害者ワンストップで支援 奈良に民間拠点「アットリンクハウス」オープン」

・ 2022年11月04日

読売新聞 大阪本社版「貧困、性暴力…女性の SOS 奈良の NPO 設立 1 周年で講演会」

・ 2022年12月10日

毎日新聞 奈良版やまと人模様「NPO 法人アットリンク理事長 性暴力被害者に寄り添う」

・ 2023年3月1日

読売新聞 大阪本社版「性暴力被害 理解深めて 5日 奈良 講演会」

・ 2023年3月2日

奈良新聞「性暴力被害者支援へ講演会 アットリンク奈良が3月5日に奈良で」

・ 2023年3月6日

読売新聞 奈良版「性暴力被害の対応を知って 奈良で講演会 心身のケア テーマ」

2022 年度決算（概要）

2022 年度決算（概要）

1. 2022 年度決算（概要）

<収益の部> 1,259,181 円（前年対比 + 492,000 円） …… X

会費収入 30,000 円（前年対比 -73,000 円）

○ 受け取り入会金、受取会費

事業収入 12,506 円（前年対比 -17,494 円）

○ ならこーぷ理事会研修会

受取助成金等 1,048,070 円（前年対比 + 470,890 円）

○ こーぷ共済、キリン福祉財団、こくみん共済

受取寄付金等 168,605 円（前年対比 + 141,605 円）

<費用の部> 1,901,592 円（前年対比 + 1,514,990 円） …… Y

<当期中の正味財産増減（X－Y）＝▲642,411 円 前年度比 ▲ 300,110 円>

<一般正味財産期末残高 ▲ 221,110 円>

令和4年度 貸借対照表
令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人 アットリンク奈良
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	306		
普通預金	294,769		
流動資産合計		295,075	
2. 固定資産			
工具器具備品	776,381		
敷金	28,000		
固定資産合計		804,381	
資産合計			1,099,456
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	1,320,566		
流動負債合計		1,320,566	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			1,320,566
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		421,301	
当期正味財産減少額		642,411	
正味財産合計			-221,110
負債及び正味財産合計			1,099,456

2022 年度決算（概要）

令和4年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 アットリンク奈良
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	30,000	30,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	168,603	168,603
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	1,048,070	1,048,070
4. 事業収益		
特定非営利活動に係る事業	12,506	12,506
5. その他収益		
受取利息	2	2
雑収益		
経常収益計		1,259,181
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費	48,000	
法定福利費		
退職給付費用		
福利厚生費		
人件費計		48,000
(2) その他経費		
諸謝金	516,100	
印刷費	102,160	
通信費	155,923	
材料費	8,305	
水道光熱費	34,182	
旅費交通費	37,510	
広告宣伝費	281,680	
接待交際費	0	
会議費	0	
事務用品費	4,364	
消耗品費	68,603	
備品	52,393	
地代家賃	342,990	
賃借料	26,100	
保険料	2,100	
支払手数料	970	
雑費	22,000	
その他経費計		1,655,380
事業費計		1,703,380
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
役員報酬	0	
給料手当	0	

2022 年度決算（概要）

法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
人件費計		0	
(2) その他経費			
印刷費	4,390		
通信費	15,594		
材料費	0		
水道光熱費	14,649		
旅費交通費	2,100		
広告宣伝費	4,900		
接待交際費	5,967		
会議費	19,456		
事務用品費	0		
消耗品費	32,827		
備品	6,741		
地代家賃	38,110		
賃借料	0		
保険料	14,400		
支払手数料	37,140		
雑費	1,938		
その他経費計		198,212	
管理費計			198,212
経常費用計			1,901,592
当期正味財産増減額			-642,411
前期繰越正味財産額			421,301
次期繰越正味財産額			-221,110

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

2022 年法人管理

2022 年法人管理

寄付について

2023 年 3 月末残高は以下の通りです。

これまでのご協力に感謝申し上げますとともに、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

	件数	年度末の総額
個人の寄付	9 件	80,603 円
団体の寄付	1 件	10,000 円
クラウドファンディング	9 件	78,000 円

会員数について

当法人の活動に賛同していただきありがとうございます。

今後とも、性暴力被害者支援及び性暴力予防啓発活動と、女性の生き辛さを軽減するための多様な活動を運営、継続するため会員の皆様のあたたかいご支援を心からお願い申し上げます

	人数
個人正会員	10 名
個人賛助会員	20 名
団体賛助会員	3 団体

運営関係

【総会】

第 2 回定期総会 2023 年 4 月 23 日

決議事項	
	第 1 号議案 2022 度の事業報告、決算に関する事項
	第 2 号議案 2023 年度の事業計画、予算に関する事項
	第 3 号議案 役員の選任に関する事項
	第 4 号議案 アットリンク・カフェ開催に関する事項
	第 5 号議案 トraumake アカウンティングに関する事項（報告）
	第 6 号議案 支援員養成講座に関する事項
	第 7 号議案 雇用契約に関する事項

2023 年事業計画

2023 年事業計画

「性暴力のない社会の実現」を目的とし、昨年からは相談支援事業や居場所事業を行います。また、今年度は相談支援事業を強化するため支援員の養成講座の準備を進めてまいります。

【各事業の活動計画】

(1) 性暴力被害者への直接支援事業

2022 年度の電話相談の相談日や相談時間は、ホームページのカレンダーに記載してある日時（不定期）で実施してきましたが、2023 年度は下記の通り実施します。

平日 10 時～17 時（火、金、日、祝 除く）火、金は 19 時～22 時

(2) 性暴力被害者支援員の養成研修に関する事業

相談支援員の養成講座の内容を検討し、事業計画を立案・推進してまいります。

(3) 性暴力に関する予防啓発事業

2023 年 11 月 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、当法人の設立 2 周年記念講演会を開催します。（講師未定）

(4) 2023 年度 助成金事業

- こくみん共済 coop 地域貢献助成事業 Me Too の会+（プラス）
- CO・OP 共済 地域ささえあい助成事業 コミュニティカフェ「At Link café」の運営
- WAM 性暴力被害当事者へのトラウマケアと相談支援事業

2023 年度もアットリンク奈良は、性暴力のない社会の実現をめざし、活動してまいります。

皆様からの温かなご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2022 年度
アニュアルレポート（年次報告書）

2023 年 3 月発行
特定非営利活動法人 アットリンク奈良
〒630-0134 奈良県生駒市あすか野北三丁目 6 番 1 1 号
TEL : 090 - 6555 - 0326
HP : <http://www.atlinknara.org>
E-mail : mail@atlinknara.org